

第 3 財 務

1. 総事業費及び財源

(単位:百万円)

区 分	空港線 姪浜～福岡空港 箱崎線 中洲川端～貝塚 (昭和49年度～ 平成5年度)		七隈線 橋本～天神南 (平成7年度～ 平成18年度)		全 線 合 計	
		構成比		構成比		構成比
総 事 業 費	411,254	100.0	281,050	100.0	692,304	100.0
内 訳	用 地	8.2	26,481	9.4	60,165	8.7
	土 木	48.8	152,066	54.1	352,900	51.0
	軌 道	1.9	7,981	2.8	16,000	2.3
	建 築	9.2	38,583	13.7	76,385	11.0
	電 気	9.2	20,348	7.3	58,236	8.4
	車 両	4.2	12,002	4.3	29,197	4.2
	そ の 他	18.5	23,589	8.4	99,421	14.4
財 源 内 訳	企 業 債	82.3	165,280	58.8	503,806	72.8
	一般会計出資金	10.2	54,653	19.5	96,715	14.0
	補 助 金	6.9	58,273	20.7	86,445	12.5
	そ の 他	0.6	2,844	1.0	5,338	0.7

※ 七隈線延伸区間(天神南～博多)の建設費は、残工事等があるため未計上

2. 企業債現在高

(単位:百万円)

区分		建設改良債	特例債	緩和債	平準化債	特別減収対策 企業債	計
3 年 度 末 企 業 債 残 高		128,455	2,806	22,117	55,130	15,800	224,308
4 年 度 (見込み)	企業債発行(借入)額	9,986	226	0	5,240	0	15,452
	企 業 債 償 還 金	10,302	565	806	8,232	714	20,619
	年度末企業債残高	128,139	2,467	21,311	52,138	15,086	219,141
5 年 度 (見込み)	企業債発行(借入)額	5,339	577	0	2,902	0	8,818
	企 業 債 償 還 金	11,041	555	818	5,001	1,128	18,543
	年度末企業債残高	122,437	2,489	20,493	50,039	13,958	209,416

※ 企業債発行(借入)額は繰越分を含む

3. 国及び一般会計からの補助金、出資金

(単位：百万円)

あ			3年度 ま で	4年度 (見込み)	5年度 (繰越含む)	合 計
国 庫	補助金	高速鉄道整備事業費補助金	151,392	3,356	-	154,748
		特例債利子補助金	8,099	-	-	8,099
		社会資本整備総合交付金	693	-	-	693
		国際競争拠点都市整備事業補助金	74	-	-	74
		二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 (旧エコレールラインプロジェクト補助金)	169	-	-	169
		観光振興事業費補助金 (公共交通利用環境の革新等事業)	12	-	-	12
		訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策 事業費補助金	-	2	-	2
		計	160,439	3,358	0	163,797
市一般会計	補助金	高速鉄道整備事業費補助金	155,010	3,729	0	158,739
		緊急整備事業特別債元利償還助成金	65,548	3,801	3,801	73,150
		補正予算債元利償還助成金	827	46	46	919
		特例債元利償還助成金	104,324	565	555	105,444
		基礎年金拠出金	2,918	166	158	3,242
		福祉対策助成金	1,578	-	-	1,578
		祇園博多間連絡通路整備等助成金	1,117	40	21	1,178
		九大病院前地下通路整備助成金	57	-	-	57
		児童手当等に係る助成金	569	35	34	638
		調査費補助金(延伸、相互直通)	221	-	-	221
		最新エネルギー技術導入等による新たな 駅の検討事業補助金	2	-	-	2
		地下鉄駅券売機の4カ国語化事業補助金	8	-	-	8
		地方公営企業会計制度改正に係る補助金	41	-	-	41
		黒田官兵衛プロジェクト関連事業補助金	7	-	-	7
		福岡空港駅改造事業費補助金	178	-	-	178
		観光客等の移動円滑化施策の推進に係る 補助金	92	36	0	128
		特別減収対策企業債利子補助金	10	15	14	39
		企業債(脱炭素化事業)利子補助金	-	-	2	2
		その他補助金	318	-	-	318
		小 計	332,825	8,433	4,631	345,889
	出資金	建設改良事業出資金	124,989	4,301	998	130,288
		追加出資金	9,117	-	-	9,117
		小 計	134,106	4,301	998	139,405
	合 計		466,931	12,734	5,629	485,294
総 合 計			627,370	16,092	5,629	649,091

※高速鉄道整備事業費補助金には、空港線、箱崎線、七隈線の耐震補強・大規模改良・浸水対策の補助金を含む

○主な制度の概要

(1) 高速鉄道整備事業費補助金(国、市)

- ・ 平成3年度以降新規補助採択分
- ・ 建設当年度一括交付
- ・ 国…(総建設費－車両費－総係費－建設利息)×1.02×0.8(有償資金比率)×0.9(1割圧縮)×35%(補助率)
- ・ 市…(総建設費－車両費－総係費－建設利息)×1.02×0.8(有償資金比率)×35%(補助率)

(2) 緊急整備事業特別債元利償還助成金(市)

地方単独整備区間に係る企業債(特別債)について元利償還金の2/3相当額を助成

(3) 特例債元利償還助成金

① 特例債利子助成金(市)

平成5年度から平成14年度まで(10年間)発行の新々特例債(昭和52～57年度間に発行された建設債から生じる利息相当額)及び平成15年度から平成24年度まで(10年間)発行の続特例債(昭和58年～平成2年度間に発行された建設債から生じる利息相当額)に係る利子のうち、年利1.2%を上限として助成

② 特例債元金償還助成金(市)

上記特例債及び平成25年度から令和4年度まで(10年間)発行の再特例債の元金償還相当額を助成

4. 収益的収支の推移

(単位：千円)

年 度			30	元	2	3	4	5
種 別							(見込み)	(予算)
収 益 的 収 入	営 業 収 益	旅客運輸収益	31,122,975	31,519,809	20,384,228	22,989,234	28,011,687	28,622,862
		運輸雑収益	2,260,146	2,288,864	2,029,129	2,057,660	2,172,145	2,354,936
		(A) 小 計	33,383,121	33,808,673	22,413,357	25,046,894	30,183,832	30,977,798
	営 業 外 収 益	補 助 金	2,879,929	2,256,954	1,681,010	1,794,150	1,309,201	1,224,285
		その他収益	1,580	2,478	8,652	4,863	3,040	100
		長期前受金戻入	3,657,519	3,655,261	3,487,081	3,114,680	3,163,712	3,617,132
		小 計	6,539,028	5,914,693	5,176,743	4,913,693	4,475,953	4,841,517
	(B) 経 常 収 益 計		39,922,149	39,723,366	27,590,100	29,960,587	34,659,785	35,819,315
	特 別 利 益		21,397	406,970	383,696	323,480	151,790	62,327
	(C) 収益的収入計		39,943,546	40,130,336	27,973,796	30,284,067	34,811,575	35,881,642
収 益 的 支 出	営 業 費 用	給 与 費	4,609,061	4,640,157	4,898,430	4,814,928	4,917,437	5,261,347
		経 費	9,848,514	10,571,727	10,131,105	9,777,455	10,210,538	11,737,415
		(うち修繕費)	(4,767,030)	(5,291,077)	(5,209,868)	(5,041,376)	(4,890,516)	(5,289,987)
		減価償却費等	12,478,214	12,614,258	12,271,047	11,420,784	11,984,096	13,757,688
		(D) 小 計	26,935,789	27,826,142	27,300,582	26,013,167	27,112,071	30,756,450
	営 業 外 費 用	支払利息	3,572,587	3,219,934	2,818,600	2,466,777	2,151,950	2,059,677
		消 費 税	1,485,642	1,515,435	714,742	512,577	719,360	1,434,319
		雑 支 出	871	-	1,497	1,011	788	1,000
		小 計	5,059,100	4,735,369	3,534,839	2,980,365	2,872,098	3,494,996
	(E) 経 常 費 用 計		31,994,889	32,561,511	30,835,421	28,993,532	29,984,169	34,251,446
	特 別 損 失		370	3,895	1,028	218,271	0	7,676
	(F) 予 備 費		-	-	-	-	-	10,000
	(G) 収益的支出計		31,995,259	32,565,406	30,836,449	29,211,803	29,984,169	34,269,122
収 支 差 引	営 業 収 支 (A-D)		6,447,332	5,982,531	△ 4,887,225	△ 966,273	3,071,761	221,348
	経 常 収 支 (B-E-F)		7,927,260	7,161,855	△ 3,245,321	967,055	4,675,616	1,557,869
	単 年 度 収 支 (C-G)		7,948,287	7,564,930	△ 2,862,653	1,072,264	4,827,406	1,612,520

※1 消費税込みの額である

※2 「減価償却費等」は、減価償却費及び固定資産除却費（撤去費を除く）をいう

※3 「支払利息」は、支払利息及び企業債取扱諸費をいう

5. 令和5年度 高速鉄道事業会計予算

収益的収支	金 額
収 入	35,882 百万円
支 出	34,270 百万円
差 引	1,612 百万円
単年度損益(消費税要素除く)	1,300 百万円

令和4年度末累積損益 △ 110,332 百万円
 令和5年度損益 1,300 百万円
 令和5年度末累積損益 △ 109,032 百万円

資本的収支	金 額
収 入	13,223 百万円
支 出	23,630 百万円
差 引(※)	△ 10,407 百万円

※減価償却費などの損益勘定留保資金等で補てん

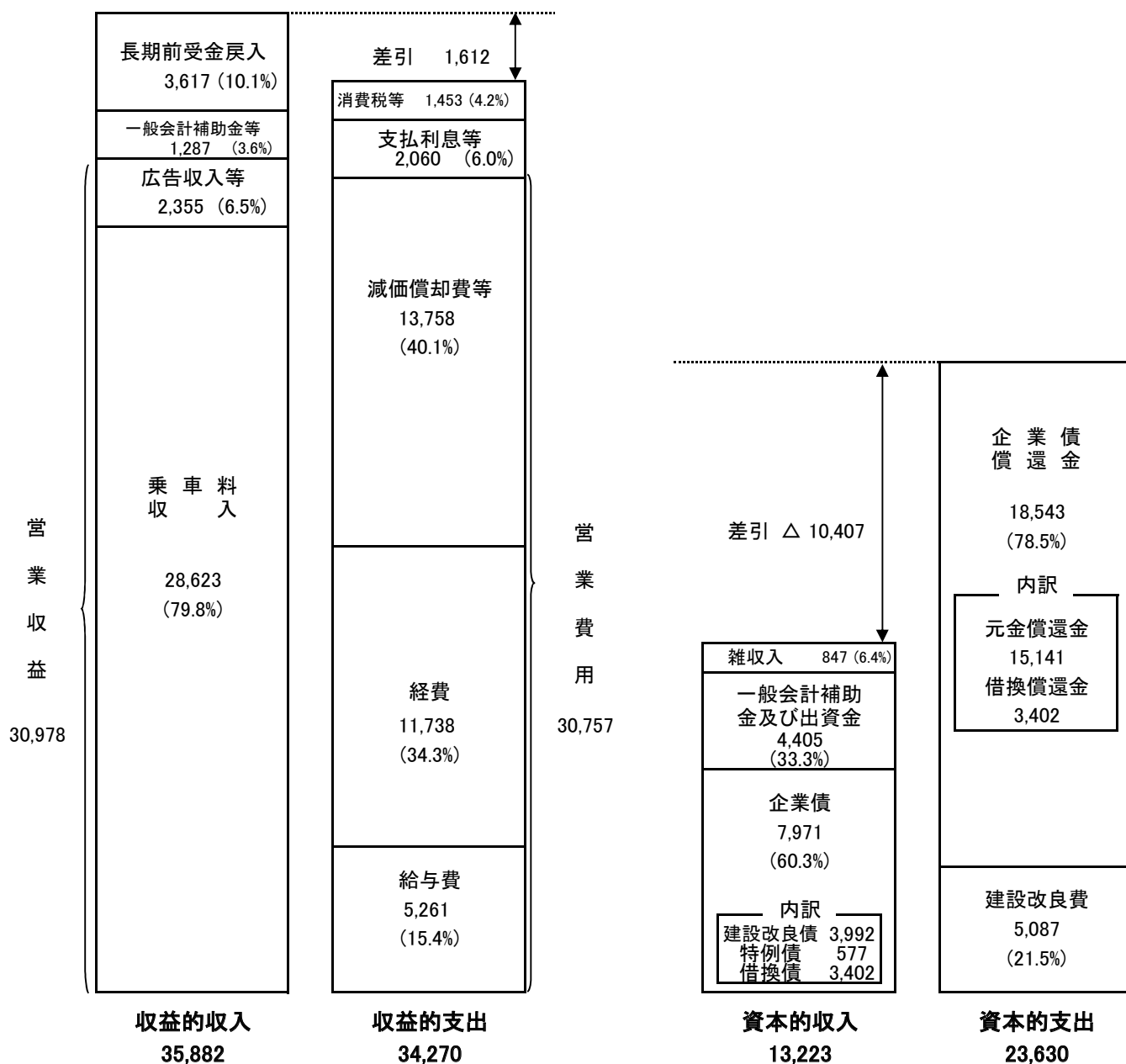
令和5年度末累積資金過不足額 2,095 百万円

収益的収支

(単位:百万円)

資本的収支

(単位:百万円)



6. 令和5年度 主な建設改良事業

営業線改良事業

事業費

5,087,146 千円

7. 重要施策

(1) 安全・安心の確保

安全を最優先とする組織風土を確立するため、運輸安全マネジメントのスパイラルアップを図るとともに、教育訓練の充実などによる安全スキルの向上や、施設・車両などの安全性確保、様々な自然災害やテロ対策の強化等に取り組む。

また、安全・安心の取組みに関する情報を積極的に発信する。

ア 施設、車両などの安全性の確保

1,689,807 千円

トンネル等の土木構造物について、長期計画に基づき補修工事を実施するとともに、経年劣化した駅の内外装や七隈線運行管理システムなどを計画的に改修・更新し、施設・設備等の安全性の確保に取り組む。

また、車両については、2000系車両の大規模改修や3000系車両の列車制御装置の更新等を行い、安全性や快適性を向上させるとともに、運用開始から約40年が経過した1000N系車両更新のため、新造車両の製作を推進する。

そのほか、姪浜車両基地の安定的な機能維持のため、建築物等の経年劣化に対応した大規模改修事業を推進する。

イ 災害対策などの強化

57,715 千円

局地的な集中豪雨等による浸水に備え、駅施設の浸水対策を強化するため、駅出入口の経年劣化した止水板の改良を計画的に実施する。

(2) 快適で質の高いサービスの提供

お客様により満足いただける高品質なサービスを提供するため、スムーズな輸送サービスや快適・便利な環境づくりに取り組むとともに、高齢者や障がいのある人に対応したサービスの提供や来街者にも使いやすい環境整備など「ユニバーサル都市・福岡」にふさわしい地下鉄に向けた取組みを推進する。

ア 快適・便利な環境づくり

133,866 千円

お客様に安心・快適にご利用いただくため、乗車マナー向上やより安全な乗降の確保に向けた取組みを継続するとともに、駅の空調設備を改善する。

また、2000N系車両及び3000系車両の車内に防犯カメラを設置するとともに、天神駅及び博多駅に防犯カメラを増設するなど、効果的な防犯対策に取り組む。

イ 来街者にも使いやすい環境整備とサービスの提供

24,602 千円

福岡市を訪れる国内外からのお客様等の利便性向上を図るため、引き続き地下鉄駅コンシェルジュを博多駅に配置するとともに、「世界水泳選手権福岡大会・世界マスターズ水泳選手権九州大会」期間中は福岡空港駅にも配置する。

また、車両等の非常用設備について、設置位置や使用方法等をわかりやすく表示するなど、案内サインの充実に取り組む。

(3) まちづくりへの貢献

福岡のまちの発展に貢献するため、駅周辺のまちづくりに対応した駅施設の改良や、沿線の地域、イベント、施設などと連携した取組みを推進する。

また、脱炭素の推進など環境対策に関する取組みを推進する。

ア 沿線まちづくりに対応した駅施設の改良など 23,592 千円

博多駅筑紫口において、駅リニューアルの一環として、新たな店舗区画を創出し、お客様にとってより魅力的な店舗の誘致を図る。

イ 沿線の地域、イベント、施設などとの連携 5,346 千円

駅ごとの近隣の街並みや地域の歴史、観光資源等の特性を踏まえた駅の魅力づくりに取り組むことにより、各駅の個性化・活性化を図るとともに、各駅の魅力を効果的に発信する。

また、「世界水泳選手権福岡大会・世界マスターズ水泳選手権九州大会」の気運醸成と地下鉄利用の促進を図るため、車内での案内放送や駅の装飾等を実施する。

ウ 環境対策に関する取組み 118,297 千円

省エネのため、トンネル内の照明や駅構内の電照広告等のLED化を計画的に実施し、使用する電力の削減に取り組む。

また、脱炭素化を促進するため、再生可能エネルギー由来電力を計画的に導入する。

(4) 経営基盤の強化

新型コロナウイルス感染症の影響など、経営環境の大きな変化や喫緊の課題へ対応するための集中経営計画を推進し、地下鉄の中長期的な経営の基本計画である経営戦略の再構築に取り組む。

また、経営基盤を強化するため、マーケティングに基づく戦略的な営業施策の推進、広告・駅ナカ事業収入の確保や未利用資産の有効活用に取り組む。

そのほか、地下鉄を支える人材の計画的な確保と育成に取り組む。

ア 経営改革の推進 320 千円

新型コロナウイルス感染症の影響など、経営環境の大きな変化に戦略的かつ迅速に対応し、将来にわたって安定的に事業を継続するため、大幅な減収など喫緊の課題に対応する集中経営改革を推進するとともに、平成31年2月に策定した「福岡市地下鉄経営戦略」について、12年間の基本計画である「長期ビジョン」と4年毎に見直す実施計画である「中期経営計画」への再構築に着手する。

イ 戦略的な営業施策の推進 23,582 千円

新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少したお客様の地下鉄利用を促進するため、七隈線延伸開業を契機として、集客施設等との連携や観光資源を生かした周遊コースの開発・情報発信等の戦略的な営業施策を実施するなど、地下鉄利用の魅力の向上を図る。

ウ 新技術の積極的な活用 2,420 千円

福岡市実証実験フルサポート事業を活用した「クレジットカードの非接触決済機能を活用した鉄道改札通貨に関する実証プロジェクト」により、お客様の利便性・快適性等に資する新たな技術の活用に取り組む。

エ 人材確保と育成

21,028 千円

交通局人材育成プランを改定し、職員一人ひとりがその果たすべき役割と能力を自覚し、多様なお客様のニーズに的確に対応できる人材を育成するとともに、引き続き技術関係職員における技術力の継承・向上や運輸関係職員の計画的な採用を図る。